



山田庄

一 石のふん事

二 刀之事

三 當万世事

四 久郎宅事

五 筋之事

六 胎蔵界

七 五佛之事

八 四生之事

九 十二因縁之事

十八 苦

十一 有為轉變

十二 海之部

十三鳥トビ

十四雉トビ子ヲ解とく事

孔子こうし三行さんかう五常ごかうノ後のち庖ほう丁てい新理しんり盛さか物ものヲ定さだ陰陽いんやう和わ合が義ぎヲ以もつテ以もつリ沙汰さたス然しかニ鯉りノ鱗りん一通いつくニ三十六ナラリ是ニツイテ三十六年しそくねんヲ先さきト志ち皆みな佛法ぶつぽふ也なり妙經みょうきやう二十八品にじはちへんコレ金剛こんかう法ぽふ也なり是こゝヲ三十六さんじゅうろくニ記しス金剛界こんかうかいヲ表あらわシ身み下した胎藏界たいざうかいヲ表あらわシ兩身りやうしん下した孔子こうし三世さんぜヲシテリ鯉りモサレテニニ六む鱗りんヲ生はシ目前くげんニ至いたラる古來こらい賞ちやう音おん也なり口傳くつでん有あ之なり一石いっせきタタニ事こと



右三身ノ如來无作ノ三

天地ニ時節アリ有為轉變也却
ヲ以テ謹ヲシル刻ニ三時ヲニ時ニテ
日ヲシル日ヲ以テ月ヲシル月ニテ年
ヲシル年ヲ以テ却減ヲシルス六十
一年二年一ツ減シテ一空ト云也
如是置ト云却ヲ石ト云ス也庵

丁之專一也

一刀之事

虞舜ノ御代ニ水中ヨリ鯁刀ヲ
ノミカケテサシ出タリ此刀ハ名モ无
ク柄モナシ面ニ當一カ世為裡ニ
色即是空空即是色ト有此
ハノ字ノ心ヲ以テ先キ八寸ニシノホ
立啓九寸也柄ヲ鯁ロニツクル也
ハ故也孔子末世ヲ条シテ口カ
ヲ八寸ニ定スルハ刀ノ大小ハ却減ニ
付テ決サレタ也口傳マリ
一當一カ世為之事

一當ハサリ也

一カセハハ法界ノ衆生悉クナリ

善ヲモナス遊カク遊フラナヘト

即身成佛タレト

一色即是空空即是色空

月西山ニ入給ハ日東山ニ出給フ

散花アバサク花モアリ法界

何ナラニヤ

一筋之事

孔子以前ハ筋ノ大小定ナレサレ

妙經二十八品ヲ以テ一寸ヲ二品ニ表

ス然ルニ天神六代ニ五佛御出世

ナレハ妙末タ無明也孔子却惑ヲ

ハガリ末世ヲ察レテ筋ノタチ一尺

八分ニ定給フハ

一胎藏界ノ八百余ヲ以テサレハ

一分一佛一尺百佛ナリ然ルニ八分ヲ

以テ八百余ヲト觀念也事依四

寸ニケツリ四寸ノ中ニ二十八刻ハ

少シ二十八也年依四寸ハ天

王也或ハ胎藏界ヲ觀念ニ或ハ

經二十八品ヲ二表シ寸ヲ刻ニ表

スヲ年依ト号二十八品ニハ卷

又刻一十六有ヘシ

一五佛之事

一ツ六

毘婆尸佛

二ツ六

尸棄佛

三ツ六

毘舍浮佛

四ツ六

拘留孫佛

五ツ六

拘那含佛 已上

一四生之事

胎

ハラゴニ

卵

ツブコ

滋

ウルライ

化

ハクル

右此外生物ナレ

一十二回縁之事

一無明

出入ノ息ヨリ母ノ腹ノ中ニテ一滴

ノ露ノ始タトハ土中ニ草種ハ

アリナガラ其レ凡見ヘヌヲ云ナリ

二行

日数行ニ随テノスカタ也

三色

其ノ躰ハ大形アリテ赤心ハナニ

四名色

眼耳鼻舌身意尽クタイス

トイヘモ末母ノ腹ノ中ニアル也

五六八

六根スミヤカニ胎内ヲ出スルナリ

六六觸

千ニラレナレハニメナリ

七受

ウクル

八愛

リヤウナク

九九

トル

十有生

十一老

十二死

已上

一八苦之事

生老病死

愛別離苦

求不得苦

悉增徳苦

五蘊咸苦

已上

一有為轉愛之事

木火土金水

木水 火水 土水 金水

一海之部

實相ハ口ノ大海ハ方便ノアミニニ

入切モ切ラル、眞七皆成佛也佛

法サカリニテ神代敎昌也現受

無比樂也生清淨土也隨而庖丁

ノ和^わ前^{まえ}程^{ほど}ニ^二扱^{あつか}更^しハ^タト^ハ繪^えニ
書^く花^{はな}ノ如^{ごと}シ^真ハ^真如^{ごと}實^{じつ}相^{さう}也^抑
伊^い特^{とく}諾^{だく}伊^い特^{とく}冊^ふノ尊^{そん}御^お銚^{しやう}ヲ
下^か界^{かい}ヲ^ロシ^大海^{かい}ヲ^サガ^シ給^{たま}ハ^下
界^{かい}迄^{いた}化^{くわ}御^おタ^メ也^其時^{とき}御^お銚^{しやう}ヲ
リ^一滴^{てき}ノ露^ろヲ^チ淡^{たん}路^ろ嶋^{しま}ニ^也比^ひ
嶋^{しま}ニ^降化^{くわ}メ^國土^{こくど}ヲ^守護^ごシ^給フ^故
二^路ヲ^玉ホ^コト^名付^な付^はト^云又^又海^{かい}中^{ちゆう}
ヲ^サカ^シ給^{たま}ハ^御銚^{しやう}ニ^ツイ^テ奥^{おく}ヲ
ア^ガリ^ケル^轉ナ^リ則^{すなは}ち^庖丁^{てうてい}ナ^シテ^又
海^{かい}中^{ちゆう}ニ^入レ^給ハ^一切^{しつ}衆^{しゆう}生^{じやう}ノ^タメ^也目^め
本^{ほん}開^{かい}ノ^奥十^{じふ}六^{りく}陽^{やう}魚^{ぎよ}氏^し名^な付^は給^{たま}
其^{その}時^{とき}意^い波^はシ^キリ^ニヒ^カツ^テヨ^リタ^ル
魚^いツ^エイ^ラシ^テル^ニ定^{じやう}カ^ニ首^{くわう}尾^びノ^見
サ^ハ海^{かい}月^{げつ}ト^名付^な給^{たま}又^又ヒ^カル^ヲ月^{げつ}
号^{かう}海^{かい}月^{げつ}ト^書シ^陰魚^{いんぎよ}氏^し名^な付^は轉^{まわ}庖^{ぱう}
丁^{てう}始^{しやう}ナ^リ海^{かい}月^{げつ}料^{りやう}理^りノ^始也^右神^{しん}
道^{だう}ニ^テ孔^{こう}子^し是^し秘^ひシ^筆ツ^タシ^給也^一
鳥^{とり}之^の部^ぶ
霍^{くわく}水^{すい}鳥^{とり}左^さ右^う羽^うヨ^リ庖^{ぱう}丁^{てう}車^{しや}
陰^{いん}陽^{やう}和^わ合^がノ^義也^空一^立羽^{りつ}ニ^羽フ^シ
シ^地ヲ^リス^ル羽^うヲ^陰ト^号羽^うニ^羽フ^シ
ヲ^重ル^ヲ和^わ合^がト^表ス^カシ^ヲ骨^{こつ}ニ^ツ
ヲ^三氷^{ひよう}ヲ^来ト^觀念^{くわんねん}ス^法界^{はうがい}ノ^シ

其^{その}時^{とき}意^い波^はシ^キリ^ニヒ^カツ^テヨ^リタ^ル
魚^いツ^エイ^ラシ^テル^ニ定^{じやう}カ^ニ首^{くわう}尾^びノ^見
サ^ハ海^{かい}月^{げつ}ト^名付^な給^{たま}又^又ヒ^カル^ヲ月^{げつ}
号^{かう}海^{かい}月^{げつ}ト^書シ^陰魚^{いんぎよ}氏^し名^な付^は轉^{まわ}庖^{ぱう}
丁^{てう}始^{しやう}ナ^リ海^{かい}月^{げつ}料^{りやう}理^りノ^始也^右神^{しん}
道^{だう}ニ^テ孔^{こう}子^し是^し秘^ひシ^筆ツ^タシ^給也^一
鳥^{とり}之^の部^ぶ
霍^{くわく}水^{すい}鳥^{とり}左^さ右^う羽^うヨ^リ庖^{ぱう}丁^{てう}車^{しや}
陰^{いん}陽^{やう}和^わ合^がノ^義也^空一^立羽^{りつ}ニ^羽フ^シ
シ^地ヲ^リス^ル羽^うヲ^陰ト^号羽^うニ^羽フ^シ
ヲ^重ル^ヲ和^わ合^がト^表ス^カシ^ヲ骨^{こつ}ニ^ツ
ヲ^三氷^{ひよう}ヲ^来ト^觀念^{くわんねん}ス^法界^{はうがい}ノ^シ

サニ々其カギリナレ何レカアタナラヤ
サレ氏先ツ五穀成就第一也然ハ
首ヲ骨ニツニた石ヲ羽ヲタテ五
穀成就タルヘシム子ノ四ノ八十ヲ佛
土中唯有一乘法無二亦無三除
佛方便說佛平等說如一味兩
門衆生性所受不同此文ヲ以テ
但庖丁觀念是アリ
一雉ヲ足ヨリ解事天智天皇ノ
御代ヨリ也唐國ノ日記ハ大カタ落
水鳥同前ノヤウニ作也但サキヤウ
有大事口傳ナリ解事ハモロシ

ニ毛解キ作也足ヨリサクハ日本
記ニ作也 已上

右四條家之秘傳堅秘々

園部新六衛
吉田五右衛門尉
園部和泉守
羽田神右衛門尉
高橋権兵衛尉

北

上^た座^ま中^ち三^{さん}疆^が一^{いつ}羽^は雞^き梅^{ばい}元^{げん}
竹^{たけ}花^{はな}の^のう^うろ^ろ

月^{つき}建^{けん}も^も床^ど乃^の内^{うち}の^のう^う金^{きん}

金^{きん}乃^の内^{うち}の^のう^う二^に重^{じゆう}

金^{きん}乃^の内^{うち}の^のう^う二^に重^{じゆう}

二^に重^{じゆう}

二^に重^{じゆう}

南

新^{しん}乃^の内^{うち}の^のう^うみ^みえ^え
下^{した}乃^の内^{うち}の^のう^う三^{さん}乃^の内^{うち}の^のう^う

ト 東

こまんちう

あうりあ

まんまん

こあひ

らと

こさー

魚足

何と金取れや

二 八 月 ぬきや中よ 蓬葉の音

あやこ ささく

こあひ

まんまん

らん

さすき

金取

あのおき切金のこや

上 西

や

式三 猷

はか打

梅子

はか打

二

はか打

三ツ 盃 若の者

あやこに口傳
おききき口傳

はかー 一 朝

はか打

三

はか打

はか打

こたの上ねさ
わさき

五

龜甲^{こもがら}

多

こもがら

龜甲^{こもがら}

二

はがら^{はがら}

くもがら^{くもがら}

はがら^{はがら}

三

はがら^{はがら}

あまのあし

はがら^{はがら}

あまのあし

くもがら^{くもがら}

の

はがら^{はがら}

二

はがら^{はがら}

あまのあし

あまのあし

はがら^{はがら}

三

はがら^{はがら}

あまのあし

はがら^{はがら}

おん 饗食

おまの系
調りり とう とうり てあ
あづり 抱 郷 唐 美の産
題 松さ ちり とう ふう

二

おまの系
と 郷 とう とう 更
ちり 松りの郷 郷 美の産
と 郷 とう とう 更

三

おまの系
と 郷 とう とう 更
ちり 松りの郷 郷 美の産
と 郷 とう とう 更

うまみ ちり けり

亀甲 ちり 唐 松 郷 美の産

市 智七

おまの系

と 郷 とう とう 更

と 郷 とう とう 更

二 郷 とう とう 更

と 郷 とう とう 更
と 郷 とう とう 更
と 郷 とう とう 更

御愛膳五本立之次第

十二合のりて地

ひき
ひき
ひき
ひき
ひき

作る能はるり
何と云のたてて地
何とも云のたてて地

りりあねのあね

さのこふりあ

いのふああやこ

よたひく

橋やまのふりく

玉置

純子

瓶子を殺

おやおお

提

玉置

二重

くぬき

きり

々々

ひき

ひき

提

右の床のひきりきり

式三献

海月

へ

女房はうかの

魚

梅子

〇



〇

二献

うしん

○常

○す

三献

うしん

○常

御膳

御膳成の時
はふりとし

御膳

御膳食膳組之次
松系りき

朝り

○常

削物

平饗

○常

○常



鯛盤

はう

○常

御二

角盛 まろ

ろ

とみ奥

ふきと

飲盛と須食

作毫

作毫



角盛 えきり

しもえ

とろろ

右中郷食秋成之郷食以四方相生の松
とあり也但しとあるとあきれたま
ひとびゆはす

御三

塩 しほ

あう

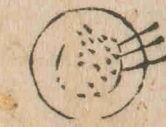
とみ甲盛

こゝのけり



酒びて

いふえん



右とみとの時の房とてなるは酒湯いなり
るは陰陽のやとて新れりとの膳
とありと用也けりとのやとて
りよは口傳ありし

御五

削物

やうき

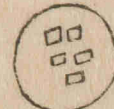
きき



カ 亀足

いふやうの汗

いふやう



いふやうの汗

御五

かきこ

船盛

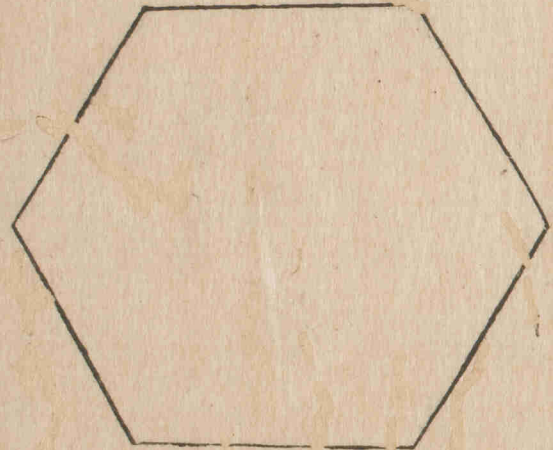
いふのめ

いふのめ
いふのめ
いふのめ



いふのめ

いふのめ



いふのめ
いふのめ
いふのめ

廿五



五

五

黃赤

癸子

江戸の地

齊地

○

ほふの抱

三

五ノ五

思
君

おまのひききつわん 仁右月太

献 初

もろい
ろがたて三ツ

赤粉
白粉
有

有
餅

一 献

こく切目の
川四あり

はぐの
也

乾
取

二 献

こく切目の
川四あり

はぐの
也

まがら

引留^{ひきど}方^{かた}腰^{こし}

埃^{ちり}埃^{ちり}物^{もの}あ^あや^や物^{もの}

あま^{あま}世^よ 此^こ湯^ゆ付^け 著^{しる}

如^{ごと}の^の物^{もの} 折^をけ^け へ^へ物^{もの}こ^こ

二

た^た む^む 汁^じ 集^し

う^うあ^あ 龜^{かめ}足^{あし}

今^{いま} 汁^じ 調^{たう}

石の

十

三

酒さけひて

削くろ物もの

汁じ鰯いわし

み
龜かめ

おぢん

今

汁じ鰯いわし

与

やや子こ名な

汁じ鰯いわし

ここぐぐ
ここぐぐ

かかききみみ

汁じ鰯いわし

五

二
う
う

計
う

あふ
まのつ
てのつ

二
羽
う

計
う

九
う
う
う
う
う

献
う
初

鳥
う
う
う

う
う
う
う
う

み
う
う
う
う

二
南
う
太

う
う
う

う
う
う

す

う
う
う
う

う

三献

こゝろ 龜足
こうに

のり物

いぬがら 龜足

あび ひきし

あめまじり

五献

くら子

五献

もんちう

いし物 湯やき 龜足 金瓶

右四條家秘傳也

だい えんがら 二重 築山 共

三 面一尺四寸 土居二尺

三 面一尺三寸五分

五 面一尺三寸

一、方龜の甲、廣さ一寸五分

あり、長さ一寸九分

一、トのめ、おきて、廣さ八寸二分

ゆりの長さ八分

一、トのたい、おきて、二尺二寸

ゆりの長さ八分、さうのあじ、はうの
かゝり、れやうに、可き

一、上乃、盤、おの、ゆ、あり、右の、ゆ、り、に、
の、と、う、ま、さ、う、ふ、い、ち、ん、の、さ、は、り、

二重

一、上乃、龜、の、う、す、五、分、あ、り、の、さ、り、

一、寸九分

一、ト、乃、たい、め、の、面、の、は、廣、さ、八、寸、二、分、ゆ、り
の、さ、り、八、寸

一、ト、乃、う、い、ち、さ、二、寸、二、分、以下、たい、め、の、
は、八、寸、二、分、ゆ、り、の、さ、り、八、分、同、う、い、ち、
さ、り、四、寸、二、分

一、ト、の、たい、め、の、面、は、九、寸、あり、の、さ、り、
二、寸、二、分

一、ト、乃、龜、の、面、は、二、尺、二、寸、あり、ゆ、り、
八、分、同、ト、の、是、乃、さ、り、二、寸、九、分、付、
十、文、字、右、の、あり、は、
ま、中、の、う、い、ち、さ、り、

一節より一亀のうに八寸五分

車環食の輪

一節より一尺二寸五分上より五寸下のせ
二寸五分

沖鳥の巻

一面より一尺二寸同横一尺二寸の巻
寸より一尺二寸同横一尺二寸の巻

寸八分

沖鯉の巻

一長より一尺二寸同横一尺二寸の巻
分但より一尺二寸同横一尺二寸の巻

龍子の巻

一巻より一尺二寸五分横一尺八寸

式之献の巻

一巻より一尺二寸五分横一尺八寸
よ沙は是角

一巻より一尺二寸五分横一尺八寸
亀の甲

一面より一尺二寸五分横一尺八寸
十二合の打

一尺八寸五分横一尺八寸
十文字但六寸の打

新家渡物

一番水二八二牛四二賊五鍋六米七

家老八鼓具九小兒十具足十一酒

十二主人

右田條家秘傳書也

茵紅新書

吉田五右衛門尉

蘭紅和泉守

時田神左衛門尉

高橋權兵衛尉

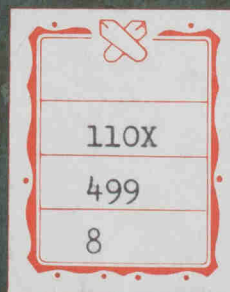
高橋五右衛門尉

寛永十九年

午 五月廿一日

中村十右衛門尉





110X

499

8